

選挙
統一地方選含め50

Chiba New Story

変わらぬ街のきずな
新しい物語を
ここから

閉店後の交流

千葉

サイバーの中のリアル



西千葉の街おこしイベントに集まった、海保真さん(中央)や虎岩雅明さん(中央左)ら、あみっひいのメンバーたち=06年12月16日、千葉市中央区弁天2丁目で(超広角レンズ使用)

心伝えて客が仲間に

新しい物語を
ここから

□1□

ムで意識されている。

ただ、自分で日記はついたに

書かない。06年もわずかに3回
書いたのは世喜子さんだ。1回は10月、両親と離婚のある娘さんの
3人連れが来店した日のこと。母親が、店のメッセージボード
に目をめた。養護学校の生徒が
ついたものだ。「ひの子もつ
いていた」と世喜子さんに声をか
けた。午後1時半に閉店、片づけを終え
ると日付が変わる。石川さんと妻
の世喜子さん(52)がパソコンをい
やま亭はテーブル席を合わせて
24席の小さな店だ。「あみっひい」につなぎ
つたで「あみっひい」につなぎ
つた。紹介者を通じて入会し、会
員同士が日記を掲示したり、グル
ープを作りできる。石川さんは「
きやまん」というニックネ・ネットワーク・サーシャル
・ネットワーク・サーシャル

まちは舞台だ。そこからしか見えない風景、思ふかい。人々の紡ぐ物語の記憶は、歴史として、あるいは継承として積み重なっていく。また出て目をこらし、耳を澄ます。代わり映えのない異色? しかし、新しい旋律は繋がれられている。小さな物語かもしれない。それでもあなたたのことは、今も、これからも、瑞々しく舞台だ。まちの「新しい物語」を、まずは千葉市から

あみっひいと私

松山美穂子さん

きむら

木村保藏さん

松尾貴臣さん

日下裕佳さん

駒崎宏一さん

アトリエ駒

43歳
船橋市
建築家

千葉市が舞台

SNS

始まる物語は、ネットを介したり

アル人の結びつきだ。

あみっひいを運営するNPO

「トライワープ」によると、登録

会員は12月末で110人余り。

77歳最高齢に千葉大などの学生

と地域の人々が半々。約4割が40代

以上だ。「顔が見えない」ネット

空間。しかしここでは、顔を知っ

た者同士が本気語り、大半の会

員が対話を続ける。

トライワープ代表の虎岩雅明さ

んさんは千葉大の卒業生。「知り

合いの同士を、より深く結びつ

ける。あくまでアルと結びつい

ている関係を目指す」と言う。

「つながる予感

あみっひい

・海保

・やわら

・やめ

・やめ